



Y.Machida

THE DAILY HAI NISAI STAKES

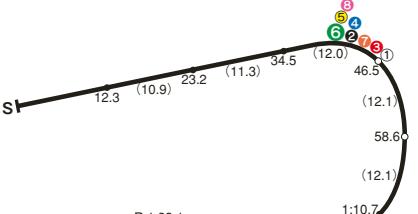
第60回 デイリー杯2歳ステークス (GII)

1着 38,000,000円 2着 15,000,000円 3着 9,500,000円 4着 5,700,000円 5着 3,800,000円
付加賞 308,000円 88,000円 44,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

2歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量



2025.11.15 京都 晴・良 芝1600m (国際) 指定

順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コナー	上り	馬体重	単勝	オッズ	調教師	レーティング
1	⑥	アドマイヤクワックス	牡2	56	坂井瑠星	R1:33.1	6-7	34.0	478(+6)	2.6①	友道康夫(栗東)	111	
2	⑦	カヴァレリッツォ	牡2	56	C.デムーロ	アタマ	3-2	34.3	478(-2)	2.6②	吉岡辰弥(栗東)	110	
3	④	アイガーリー	牡2	56	武 豊	農	4-2	35.2	438(-2)	34.0⑦	秋山真一郎(栗東)	100	
4	①	エインデンディード	牡2	56	高杉吏麒	1	1-1	35.6	450(+2)	22.5⑥	大久保龍志(栗東)	98	
5	②	マイケルパローズ	牡2	56	岩田望来	2	4-5	35.6	496(+4)	37.2⑧	上村洋行(栗東)		
6	⑧	グッドビース	牡2	56	西村淳也	1%	6-5	35.9	466(+14)	10.8④	高野友和(栗東)		
7	③	ガリレア	牡2	56	杉原誠人	ハナ	2-2	36.1	438(-4)	19.1⑤	清水英克(美浦)		
8	⑤	キャンディード	牡2	56	北村友一	%	6-8	35.8	490(+10)	3.8③	松下武士(栗東)		

単勝①260円(11%) 條勝①120円(11%) ⑦120円(2%) ④350円(7%) 框連: 発売なし
馬連⑥-⑦360円(1%) ワイド⑥-⑦190円(1%) ④-⑦1,090円(15%) ④-⑦1,090円(15%)
馬単⑥-⑦660円(1%) 3連複④-⑥-⑦3,230円(12%) 3連単⑥-⑦-④11,210円(40%)
5重勝⑧⑩⑪⑩⑥12,552,240円(24票) 対象競走: 東京10R/京都10R/福島11R/東京11R/京都11R

アラカルト

- 坂井瑠星騎手はランフォーヴァウで制した24年に続くデイリー杯2歳S2勝目。JRA重賞は25年6勝目、通算25勝目
- 友道康夫調教師はアドマイヤマーズで制した18年に続くデイリー杯2歳S2勝目。JRA重賞は25年7勝目、通算78勝目
- リアルスティール産駒はJRA重賞通算8勝目
- 勝ちタイム1:33.1は13年の本競走でホウライアキコが記録した1:33.2を更新するコースレコード
- キャンディードは競走中に疾病(鼻出血)を発症

アドマイヤクワックス Admire Quads

牡 鹿毛 2023.1.23生

北海道安平町 ノーザンファーム生産

馬主・近藤旬子氏 栗東・友道康夫厩舎

馬名意味・冠名+4枚の同じ数字のカードが揃った強力な役
(ポーカー用語)

パシフィックリムIRE系 F2-n

リアルスティール 鹿毛 2012	ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘAIRE
	ラヴズオンリーミーUSA 鹿毛 2006	Storm Cat Monevassia
デイトライ 栗毛 2017	Zoffany 鹿毛 2008	Dansili Tyranny
	パシフィックリムIRE 黒鹿毛 2010	Singspiel Prairie Runner

5代までのインブリード: Halo S 4×M5 Mr.Prospector S 4×M5

INTERVIEW

高見優也厩舎長(ノーザンファーム空港)

レコード樹立には驚いています

父の産駒は芝、ダートを問わない活躍を見せていますが、この馬は動きに軽さもあり、しまいの切れも感じていたので、芝向きの馬だと思っていました。乗り慣らしの頃は細かった馬体も日に日に成長していき、厩舎へ送り出す頃には見た目だけでなく、動きの良さも目を引くようになっていました。馬場が悪いインをつきながらのレコード樹立には驚いています。



N.Inaba

重賞ワイナーも2頭参戦したデイリー
一杯2歳Sだが、人気の中心を占めた
のは1戦1勝馬。新馬戦を勝ち上がつ
たばかりのアドマイヤクワックス、カヴ
アリツツオが同じオッズ(単勝2・
6倍)で1、2番人気を分け、一枚上
の戦歴(2戦2勝)を誇る中京2歳Sの
覇者キヤンディードがこれに続く存在
と目された。前評判通りの一騎打ちを
演じたのは1戦1勝の両馬。アタマ差
で決着した接戦の重配は、1番人気の
アドマイヤクワックスにあがつた。
函館2歳Sを鮮やかに逃げ切った工
イシンディードが、この日も出色的のダ
ッシュで飛び出して先制。中盤にペー
スを緩めた同馬を筆頭に、一団の隊列

リアルスティール産駒の本馬は10月
に東京・芝1600mの新馬戦でデビ
ュ。中団から鋭く差し切って初勝利
を挙げると、この日は非凡な決め手に
加えて抜群の勝負根性もアピールし
無傷の2連勝を飾った。勝ちタイムの
1分33秒1は、2013年の本レース
でホウライアキコがマークした記録を
12年ぶりに塗り替える2歳のコースレ
コード。無傷の戴冠に挑む朝日杯フュ
ーチュリティSでは、新潟2歳Sのリ
アライズシリウス、サウジアラビア
イヤルCのエコロアルバとの“無敗対

父リアルスティール

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央、首17戦4勝(ドバイターフG1、毎日王冠G1、共同通信杯G1、皐月賞G12着、菊花賞G12着、天皇賞(秋)G12着、神戸新聞杯G12着、スプリングS G12着、ドバイターフG13着)、19年から日、豪で供用
〔代表産駒〕**フォーエバーヤング**(BCクラシック・米G1、サウジC・沙G1、東京大賞典G1、ジャパンダービー・沙G1、UAEダービーG2、日本テレビ盃G1、サウジダービー・沙G3、JBC2歳優駿G1、JBC2歳優駿G1、ケンタッキーダービー・米G13着、BCクラシック・米G13着、ドバイワールドC・首G13着)、**レーベンスティール**(毎日王冠G1、セントトライト記念G1、オールカマーG1)、**アドマイヤクワックス**(木馬)、**オールバルフェ**(デイリー杯2歳S G1)、**チカッパ**(東京盃G1、北海道スプリントC JpnIII、JBCスプリントC JpnI、I 2着)、**ヴェローチェエラ**(函館記念G1)、**カナルビーグル**(ユニコーンS G1)、**フェブランシェ**(スパーキングレディーC JpnIII)、**ヴィンセンシオ**(弥生賞ディープインパクト記念G12着)、**ノイジーボーイ** Noisy Boy(タロックS・豪G22着)、**アレンジャー**(アーリントンC G12着)、**ドナベティ**(ファンタジーS G12着)、**ショウナンカリス**(ファンタジーS G12着)

母デイトライ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 持込 中央4戦0勝

ワングストーリー(22 牝父ミッキー・アイル)中央6戦0勝、地方8戦0勝

アドマイヤクワックス 本馬(23 牝父リアルスティール)中央2戦2勝(デイリ

ー杯2歳S G1)獲得総賞金45,808,000円

(24 牝父アドマイヤマーズ)

(25 牝父サリオス)

祖母パシフィックリムIRE

仏3勝(マルレ賞・仏G2)、17年輸入、18年死亡

パズオブグローリー Paths of Glory(15 驕父Mastercraftsman)豪、英

7勝(JRAプレート・豪G3、ワイオンゴールドC・豪L、ザQ22・豪G2

3着、チアマンズクオリティ・豪G23着、プレミアズC・豪G33着)

デイトライ(17 前出)

曾祖母ブレイリーランナー Prairie Runner

アイルランド産 仏2勝(ミネルヴ賞・仏G3)

ブレイリースター Prairie Star(08 驕父Peintre Celeble)仏、豪4勝(オカ

ール賞・仏G2、コンデ賞・仏G3、バルブザイル賞・仏G23着、ラフォルス賞・仏G23着、クリテリウムドサンクルー・仏G13着)

パシフィックリムIRE(10 前出)

非凡な決め手で2歳コースレコード!

重賞ワイナーも2頭参戦したデイリー
一杯2歳Sだが、人気の中心を占めた
のは1戦1勝馬。新馬戦を勝ち上がつ
たばかりのアドマイヤクワックス、カヴ
アリツツオが同じオッズ(単勝2・
6倍)で1、2番人気を分け、一枚上
の戦歴(2戦2勝)を誇る中京2歳Sの
覇者キヤンディードがこれに続く存在
と目された。前評判通りの一騎打ちを
演じたのは1戦1勝の両馬。アタマ差
で決着した接戦の重配は、1番人気の
アドマイヤクワックスにあがつた。
函館2歳Sを鮮やかに逃げ切った工
イシンディードが、この日も出色的のダ
ッシュで飛び出して先制。中盤にペー
スを緩めた同馬を筆頭に、一団の隊列

スを進む。スタート直後、7番
枠から内に進路を取ったカヴアリツ
ツオが好位につけ、アドマイヤクワッ
クスの坂井瑠星騎手はこれを射程に收め
ながら後方2、3番手を追走。その外
を進んだキヤンディードは、アクシデ
ント(ゴール後に鼻出血が判明)の影響
で早々に手応えを失ってしまう。
マイペースの逃げを打ったエイシン
ディードは、直線に向くと馬場の真ん
中へ持ち出してスパート。とはい
え、そんな逃げ馬を凌駕する末脚を發揮し
たのが、開いた内を突いて加速にかか
つたカヴアリツツオとアドマイヤク
ワックスだった。残り200m地点から
馬体を並べ、激しく火花を散らした2
頭。僅かに前に出たアドマイヤクワッ
クスがカヴアリツツオの反撃を凌ぎ切
り、息詰まる攻防に競り勝った。

リアルスティール産駒の本馬は10月
に東京・芝1600mの新馬戦でデビ
ュ。中団から鋭く差し切って初勝利
を挙げると、この日は非凡な決め手に
加えて抜群の勝負根性もアピールし
無傷の2連勝を飾った。勝ちタイムの
1分33秒1は、2013年の本レース
でホウライアキコがマークした記録を
12年ぶりに塗り替える2歳のコースレ
コード。無傷の戴冠に挑む朝日杯フュ
ーチュリティSでは、新潟2歳Sのリ
アライズシリウス、サウジアラビア
イヤルCのエコロアルバとの“無敗対